

# ♪ Music of the Heart ♪ No. 0

それは1980年、たった50挺のヴァイオリンから始まった…

これは、ニューヨークのイースト・ハーレムで小学生にヴァイオリンを教えた、一人の女性の物語です。音楽を通して、彼女と子どもたちがつかんだものは何だったのでしょうか。

※教科書 p. 71 (ACORN II)

“Don’t! Don’t play with your bows!” 「ダメ! ① ( ) で遊んじゃダメ!」  
“No, they are not guns.” 「やめなさい! それは② ( ) じゃないわ」  
“Now listen to me, please!” 「さあ、私のいうことを聞きなさい」

In 1980 Robert Guaspari started to teach fifty children in East Harlem, N.Y. They had never played the violin before. Some had never touched a violin.

③ ( ) 年、④ ( ) は⑤ ( ) で⑥ ( ) 人の子どもたちに教え始めた。彼らは一度も⑦ ( ) を弾いたことがなかったし、一度も触ったことがない子もいた。

It was a very long road to teach such children the gift of music. She had to conquer various problems: family problems, racial problems, and financial problems. But she never gave up teaching. そのような子どもたちに音楽の才を教えることはとても長い道のりだった。彼女は⑧ ( ) な問題を⑨ ( ) しなければならなかった。例えば、⑩ ( ) 、⑪ ( ) 、そして⑫ ( ) などを。しかし彼女は決して教えることをあきらめなかった

Q1 ロベルタ・ガスパーリは、いつどこでヴァイオリンを教え始めたのでしょうか

◆いつ⇒ ( ) 年

◆どこで⇒ ( )

Q2 ロベルタの前に立ちはだかった問題はどのようなものでしたか。3つ答えなさい。

◆ ( ) 問題

◆ ( ) 問題

◆ ( ) 問題

# ♪ Music of the Heart ♪

No. 1

## Chapter 6 23:34~24:37

◆聞き取れた語を下から選んで( )に入れましょう

Roberta: Hey! Naeem! Where were you ① ( )?

ねえナイーム、今日はどこへ行っていたの

Naeem: I can't be involved in class ② ( ).

もうクラスには出られないんだ

Roberta: ③ [ ]? どうして

Naeem: My ④ ( ) won't let me.

ママが許してくれない

Roberta: ⑤ [ ]? どうして

Mrs. Adisa: My son's got more ⑥ ( ) things to do than learn dead ⑦ ( )

men's music.

息子にはこの世にいない白人が作った音楽を習うよりももっと大事なすべきことがあるのよ。

Roberta: They're gonna learn "Twinkle, Twinkle Little Star." ただの「きらきら星」よ

Mrs. Adisa: How many ⑧ ( ) classical composers can you name?

クラシック音楽の作曲をした黒人の名前を何人挙げられる?

How many ⑨ ( ) classical violinists do you know?

黒人のヴァイオリン奏者を何人知っているっていうの?

Roberta: Well, that doesn't mean that's the way it should be. I mean, Naeem's just learning to play music. Maybe he's - it makes him feel good about himself.

What does it matter who wrote it?

でも、そのことがナイームがヴァイオリンをやめなきゃいけないことにはならないわ。つまり、ナイームは音楽を習おうとしてるだけなの。たぶん…音楽をやることは彼にとって気分のいいことなの。

誰が作曲したかは問題じゃない

Naeem: Please, Ma. ⑩ [ ]?

ねえ、ママ。クラスに出ちゃダメ?

Mrs. Adisa: Look, I've seen this before. You ⑪ ( ) women come up here and think you can rescue our poor inner-city children who never asked to be rescued in the first place.

⑫ [ ]. Come on.

いい、前にもこんなことがあった。あなた方白人女性は、助けてもらいたいとも思っていないのに

哀れなスラムの子どもたちを助けてあげられると思ってやってくる。余計なお世話よ。さあ行くわよ

Mrs. Adisa Don't look back at her. 振り返って見ちゃダメ

important      black      white      mother      today      anymore

No, thank you      Why not      Can I be in the class      Why

Q1 ナイームの母親は音楽に対してどのように思っているのでしょうか

# ♪ Music of the Heart ♪

No. 2

Chapter 7 27:08~28:58

◆聞き取れた語を下から選んで ( ) に入れましょう

Roberta: Guadalupe... ①[ ]?

グアダルペ、ここで何をやっているの

Guadalupe: I can't keep my bow straight. 弓がまっすぐ持てないの

Roberta: Well, honey... ②[ ].

ねえ、あなたの先生が探してるに違いないわよわよ

Guadalupe: Here. I can't come anymore. ③ [ ].

はい、これ。もうこれ以上は来れないわ。難しすぎるもの。

Roberta: Well, the violin is hard for everybody. ヴァイオリンは誰にとっても難しいのよ

Guadalupe: But everyone is ④ ( ) than me. I'll always be ...⑤( ).

けど、みんな私よりうまいわ。私はいつも下手なの

Roberta: Did you ever hear of Itzhak Perlman? イツァーク・パールマンって聞いたことある?

Guadalupe: No. ううん

Roberta: He's one of the greatest violinists in the whole world. He has problems with his legs, too. He has to use two canes to walk. But he still makes the most ⑥( )

music. 彼は世界で最も素晴らしいヴァイオリン奏者の一人よ。彼も足が悪いの。彼は二本の松葉杖を使わなければ歩けないの。でも、もっとも美しい音楽を奏でるのよ。

Guadalupe: And he sits down when he plays? 彼は弾く時座っているの?

Roberta: Yeah, he has to. ええ、そうよ。

Guadalupe: He was your student? 彼はあなたの生徒だったの

Roberta: No. But if he were, I would tell him the same thing I'm telling you.

⑦[ ]

いいえ、でも彼がもしそうなら、私が今あなたに言っているのと同じことを彼に言うと思うわ。難しいからといってやめちゃだめよ。

Guadalupe: But I ...can't stand ⑧( ). でも...、強く立てないの。

Roberta: Well, standing strong doesn't mean just using your legs.

You can stand strong on the ⑨( ). ⑩[ ]?

強く立つってことはただ足を使うって意味ではないのよ。あなたの内側で強く立つことができるのよ。言っている意味わかる?

Inside beautiful weaker better strong

You shouldn't quit something just because it's hard You know what I mean

your teacher must be lookin' for you What are you doing here It's too hard

Q1 ロベルタはどうすれば強く立つことができると言っていますか

# ♪ Music of the Heart ♪

No. 3

Chapter35 1 : 48 : 30 ~ 1 : 49 : 01

◆聞き取れた語を下から選んで ( ) に入れましょう

Roberta : I would like you all to play from your ① ( ) .

みんなには心で弾いてもらいたいの

② [ ] ?

わかる?

③ ( ) like I know you can play.

私が知っているように弾いてもらいたいの

Don' t look at the ④ ( ) .

観客を見ちゃダメ

⑤ ( ) me.

私を見て

You do not ⑥ ( ) be afraid.

怖がる必要はないわ

You are gonna be really really ⑦ ( ) tonight.

今夜のみんなはホントにホントに素晴らしいわ

Roberta : Just play from here, okay? ⑧ [ ] .

ここで弾くのよ、いい? あなたたちを本当に誇りに思うわ

have to      wonderful      Watch      heart      Play      audience

I' m so proud of you.      Do you understand

Q1 二重下線部 here とはどこを指していますか?

Q2 ロベルタが音楽を通じて伝えたかったことは何ですか

Q3 あなたがこの作品を通じて得たものは何ですか 英語で書いてみましょう

★Carnegie Hall…クラシックだけでなく広く“世界の音楽の殿堂”として輝かしい歴史を持つホール。チャイコフスキーに始まり、マーラーやフィリップ・グラス、ビートルズ、ローリング・ストーンズ、フランク・シナトラ、マイルス・ディビスなどその栄光の舞台を踏んだ音楽家は幅広いジャンルにわたる。バルコニーから眺めるカーネギーホールの美しさはそのシンメトリーな構成にある。アイザック・スターン氏は1960年以来総館長。

★Isaac Stern…半世紀以上にわたり世界的に活躍する20世紀を代表する名ヴァイオリニスト。1920年7月21日ロシアのクレミニエツ生まれ。10カ月で両親とともに渡米し、サンフランシスコで教育を受ける。8歳からヴァイオリンを習い始め、13歳で初リサイタルをひらいた後、サンフランシスコ交響楽団との共演で正式にデビュー。スターンのレパートリークラシックから現代曲まで幅広い。全米芸術募金団体の発起メンバーだけでなく、アメリカ=イスラエル文化基金の名誉会長であり、エルサレム音楽センターの創設者兼会長。

★Arnold Steinhardt…14歳のときにロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団の共演でソロデビュー。現在活動中の弦楽四重奏団としては世界で最も長い歴史を持つグアルネリ弦楽四重奏団で、1964年の結成以来、第一ヴァイオリンを担当。

★Itzhak Perlman…1945年イスラエルのテルアヴィヴ生まれ。3歳でおもちゃのヴァイオリンに親しむ。ポリオのために歩行困難となるが、テルアヴィヴ音楽学校で本格的に学び、10歳で初リサイタルを開く。13歳で渡米。ジュリアードとアメリカ=イスラエル文化基金の奨学生として学ぶ。18歳カーネギーホールで正式デビュー。現役トップクラスのヴァイオリニストとして活躍。彼のレコードは15回のグラミー賞に輝いている。「シンドラーのリスト」ではヴァイオリンソロを担当。